

第 1 学年
生活科

あきとなかよし（しぜんとなかよし）

平成 29 年 10 月 25 日(水) 第5校時
杉並区立西田小学校 第1学年 118 名
授業者／

単元目標

- ・身近な自然(落ち葉、木の実、枯れ枝など)と五感を使ってかかわり、季節の変化に気付くことができる。
- ・学校及び学区域を探検しながら、生き物や植物などの自然を媒介に、友達と関わることで、コミュニケーション能力の素地を養う。
- ・身近な自然(落ち葉、木の実、枯れ枝など)を利用した作品の作り方や、遊び方の工夫を発表し共有することを通じて、感じ方、考え方の違いや、お互いの良さ、共通点に気付くことができる。

評価規準（教科等）

- 身近な自然に関心をもち、自分からすんで関わろうしたり、みんなで遊びを楽しんだりしようとしている。
- 身近な自然を使って遊びを工夫したり、遊びに使うものを工夫して作ったりする活動を通して、遊びの面白さや自然の不思議さに気付くことができる。
- 身近な自然を使って遊び方を工夫したり、遊びに使う物を作ったりしている。

児童の実態

入学からこれまでの間、大きなトラブルもなく、全体として比較的落ち着いて学習や行動をすることができる児童である。また、低学年らしく、どの学習に対しても、積極的に取り組もうとする意欲も高い。生活面に目を転じると、児童館に遊びに行く子や、学童に通っている子はクラスを超えた交流があるようだ。しかし、休み時間の様子からは、頻繁にいろいろな友達と交流しているとまでは言えない。発達段階を考えると、全体的にまだまだ自分の気持ちを整理することや、感じたことを自分の言葉でまとめ、相手にわかりやすく伝えることは難しい。学級によって、児童の実態や学力・興味・関心の方向性の違いがあり、配慮を要する児童もいる。また、自然に触れ合う経験や遊びを一から考える経験は乏しく、おもちゃ作りや遊びの工夫にも教師からの助言や例示が必要であった。

単元観

子供たちは公園や神社など地域で守り継がれてきた豊かな自然とかかわり遊ぶことで、秋と触れ合いながら、自分たちの生活と自然が関係していることを理解していく。また、自然(枯葉や落ち葉、木の実など)を利用した楽しい遊びや工作を通じて、自然への親しみを深め、興味・関心を高めることができる。

前年度を踏襲し、今年度もNPO法人イスカの協力(積み木のシャワー)を仰ぎ、子供たちの遊びに火をつけた。五感を働かせて木材で遊ぶ活動を通じて、身近な自然について関心が高まったところで、自然を利用した工作や遊びの工夫につなげている。活動をする中で、自分の工夫したところや創作物を友達同士で伝えあう態度を養うことができると考え、他クラスと交流する時間を設定し

た。また、その活動が新たな気づきや、さらなる工夫につながると考えられる。

季節を軸とした学習として生活科を中心に据えながら、創造性を發揮できるものづくりの場面では図工との関連も考えられる。遊び方を伝えたり、友達と協力して作業したりする場面はコミュニケーションをとる必要性を生み、そのことは国語科の「話す・聞く」の基礎につながるのではないか。楽器を作っている児童が演奏法の工夫や、一緒に演奏することに目を向けられるようにすることで音楽科との関係も見いだせる。他教科との関連を見出したり、再確認したりしやすい ESD 向けの単元といえる。

評価規準

学習過程	観点	評価規準	
		1 秋の森のよさに気付く	2 友達と交流し、遊びをさらに工夫する
体験する	関心・意欲・態度	① 檜の感触やにおいなどを味わうことを通して、自然に興味をもち、すんで遊ぼうとする。 ② 木材(木の輪切り)を使って遊ぶ方法を考えようとしている。 ③ ⑦⑧遊びを工夫するための材料集めや秋探しにすんで取り組んでいる。	⑪ 遊びの工夫やおもちゃ作りに楽しんで取り組んでいる。 ⑫ 友達の考えた遊びやおもちゃ作りを楽しむことができる。
気付く	気付き	④ 落ち葉、木の実、枯れ枝などの感触、におい、色など、いろいろな観点から身近な自然のよさに気付いている。 ⑨ 身近な地域のよさや、もっと遊びを工夫できることに気付いている。	⑪ 友達と遊びやおもちゃを紹介し合い、感じ方や考え方の違い、お互いのよさ、共通点などに気付いている。
考える・工夫する	思考・表現	⑤ ⑩ 自然のものを使って遊びを工夫したり、おもちゃを作ったりすることができます。 ⑥ もっと工夫したいことや、そのためには必要な材料は何かを考えることができます。	⑪ 学習に見通しをもち、やりたい遊びや作りたいおもちゃの計画を立てることができます。 ⑫ 自然のものを使って遊びを工夫したり、おもちゃを作ったりすることができます。 ⑬ ⑭ 友達に自分の工夫や思いを伝えたり、友達のと自分の考えの違いを比べながら(よさを考えながら)聞くことができる。

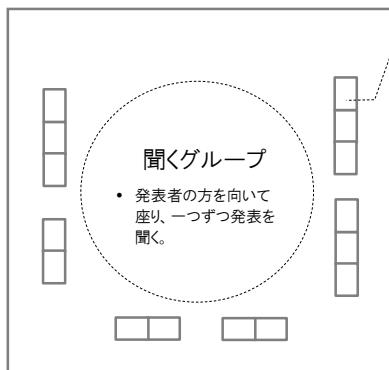
本時の授業デザインA(3・4組)(31時間目／33時間)

本時の目標

- 【発表グループ】友達に自然を利用した作品や、遊びの工夫を紹介することができる。
 【聞くグループ】友達の発表に興味・関心をもち、自分との違いを知ることができる。

教室内配置／学習シート／留意点

《教室内配置》

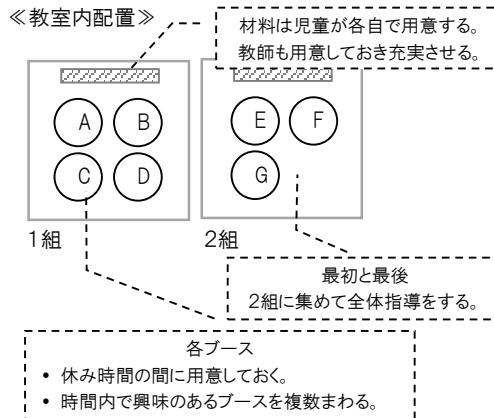


本時の授業デザインB(1・2組)(32時間目／33時間)

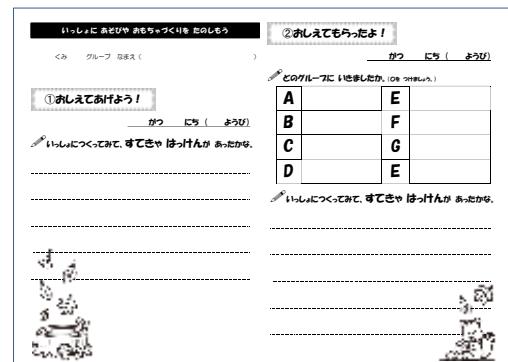
本時の目標

友達のよさに気付き、自分の遊びやおもちゃ作りに生かしたり(体験する児童)、友達と協力し、作り方や工夫を友達に伝えたりしながら(教える児童)、一緒に遊びやおもちゃ作りを楽しむことができる。

教室内配置／留意点



《学習シート》



評価規準と手立て

評価規準

友達の考え方によさに気付き、一緒に遊びを楽しむことができる。(関心・意欲・態度)

自然の物を使った遊びやおもちゃ作りを教えたり教わったりする活動を通して、秋の素材のもの不思議さや面白さ、互いの考え方によさに気づき、自分のおもちゃ作りに生かす等、みんなで遊びを楽しむことができる。

手立て

△友達に分かりやすく教え、協力して活動を楽しむことができているグループ

⇒遊びやおもちゃ作りをする中で、素材を生かした友達の工夫等、新たな気付きがあれば、互いに共有し、さらに工夫できることがないか考えてみてもよいことを伝える。

○活動を楽しむことができているものの、秋の素材に目を向けていないグループ

⇒どんぐりの形や葉っぱの色・感触等、秋の素材ならではの特徴を生かした遊び方をしている児童に注目させ、その不思議さ・面白さを自分の遊びに生かすよう助言する。

△教えることが難しく、活動が進まないグループ

⇒提案者には、作り方を画用紙に書いておく等、視覚的に分かりやすくなるような手段や、簡単な台本を予め用意させておく。体験者には、積極的に質問する等、互いに言葉を交わしながら活動するよう助言する。

学習の流れ

①導入

いつしょに あそびや おもちゃづくりを たのしもう。

T: 前回、隣のクラスの友達が作ったものを紹介してもらいましたね。

C(1組): ○○さんの作った飾りがすてきだった。

C(1組): どんぐりのゲームが面白そうだったので、僕も作ってみたい。

T: では、今日は2組がお店やさん、1組がお客様になって、一緒に遊びやおもちゃ作りをしましょう。

②展開

★2組: 各ブースにスタンバイする。

★1組: やりたい遊びや作りたいおもちゃのお店をいくつか回る。

C(2組): 紙コップに穴を開けてから、毛糸と松ぼっくりをつけて、けん玉を作ったよ。

C(2組): もっと面白くなるように、点数をつけてみるのがおすすめだよ。

C(1組): 紙コップには、どうやって穴を開けたの。

C(1組): できた! 遊んでみよう。

C(1組): 松ぼっくりの代わりに、木の枝をつけてみたらどうかな。

2組の遊び・おもちゃの内容 及び グループ分け

A まつぼっくりのあそび	B どんぐりぐりぐり	C どんぐりあそび	D アクセサリー	E あきのおちば
けんだま とんとんすもう など	どんぐりそろえ ゲーム パチンコ マラカス など	ボーリング ころころゲーム やじろべえ 3ならべ こま など	たからばこ ブローチ クリスマスツリー など	かんむり しおり おえき・しゃじんたて クリスマスリース カレンダー など

③終末

T: 今日は友達と一緒に遊びやおもちゃ作りを楽しむことができましたか。感想を発表しましょう。

C(1組): 友達が分かりやすく教えてくれたから、すてきなおもちゃができた。

C(1組): 今度は違うものもやってみたい。

C(2組): 教えるのが難しかったけれど、友達が喜んでくれて、うれしかった。

T: カードに書きましょう。

★2組: 教えるときの工夫やよかつたこと・難しかったこと等を記入する。

★1組: 友達のよかつたところや自分が工夫したこと等を記入する。

T: 次は1組がお店やさんになって、遊びやおもちゃ作りを楽しみましょう。

第 1 学年

生活科

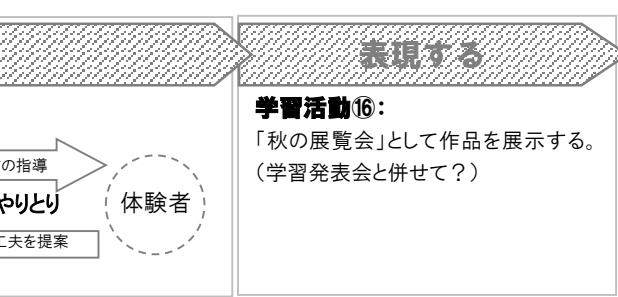
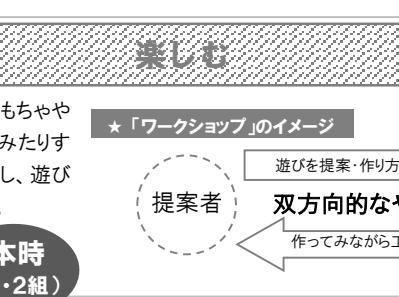
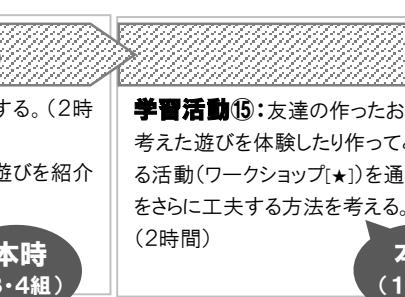
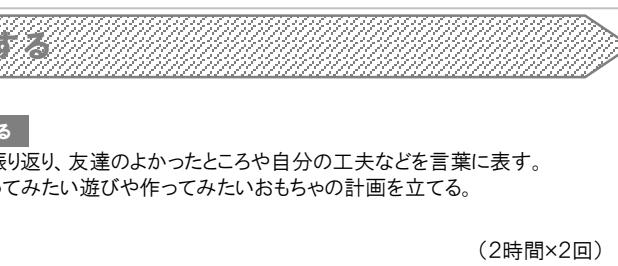
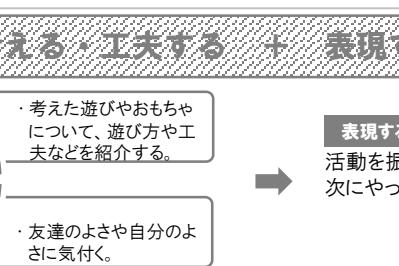
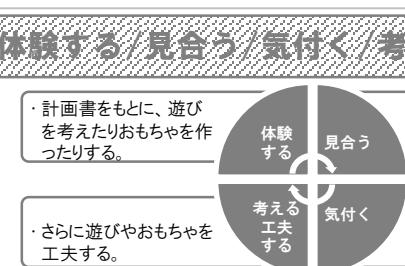
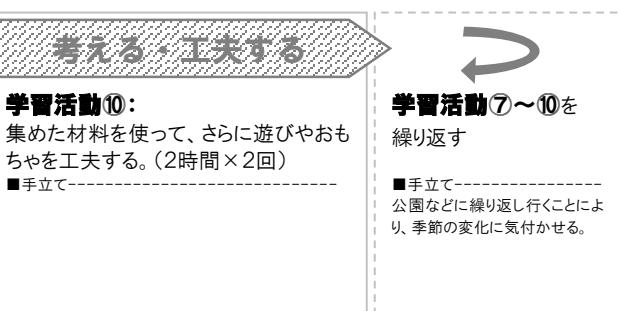
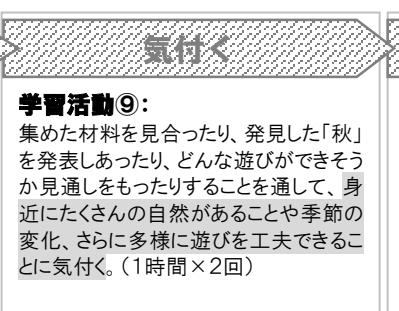
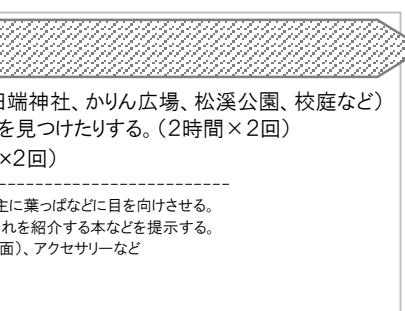
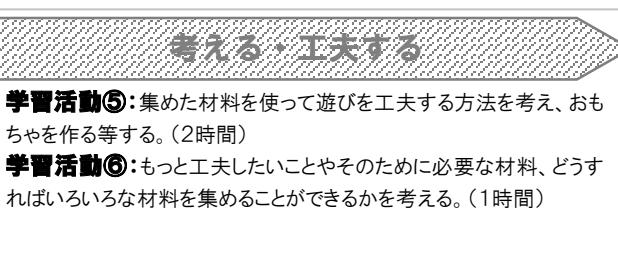
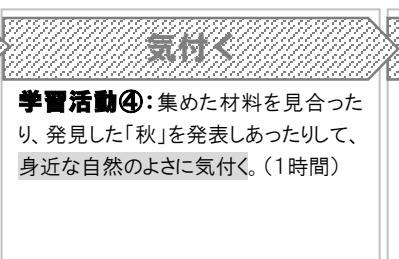
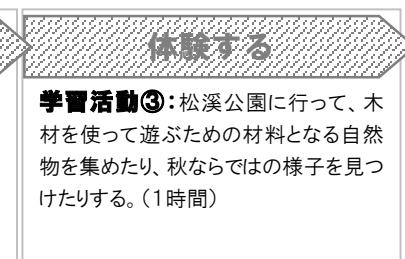
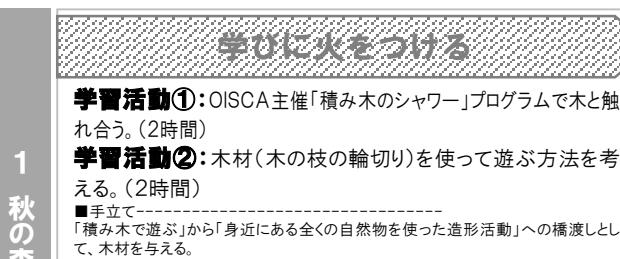
あきとなかよし（せぜんとなかよし）

単元計画／全 33 時間

平成 29 年 10 月 25 日(水) 第 5 校時

杉並区立西田小学校 第 1 学年 118 名

授業者／森野絵里奈、櫻井邦子、大山晋、瀬戸口泰博

本時
(3・4組)本時
(1・2組)

ESDカレンダー

